



# けやき



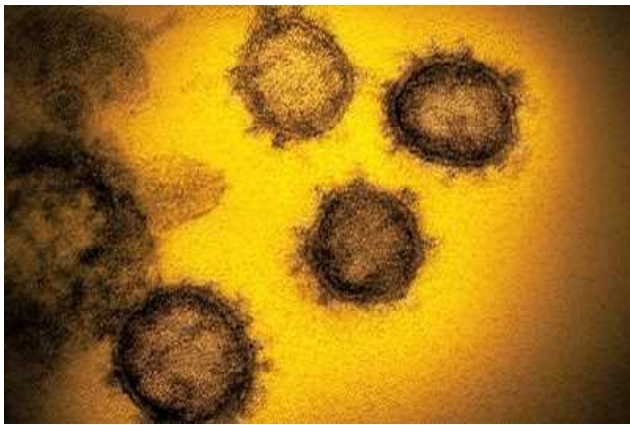
No.5

甲府市立南中学校  
令和3年8月31日  
文責 渡邊 豪

## 生徒の健康・安全の確保について

夏季休業日が終わり、2学期を迎えました。通常であれば、みんなみ祭の取り組みが本格的に始まり、学校全体が子供たちのエネルギーに満ちあふれ、活気ある2学期のスタートになるところですが、今年は現状を考慮して、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底をはかり、子供たちの健康・安全を守ることを前面に出した新学期のスタートとなりました。

学校において子供たちの健康・安全を確保することは、学校の教育活動のすべてにおいて最優先して行うべきことです。学校における事故の未然防止、災害発生時の迅速かつ適切な対応、熱中症対策、落雷への対応、心の健康問題への対応、そして、感染症まん延防止対策など、学校では子供たちの健康・安全を守るために、日々様々な取り組みを行うとともに、各種マニュアルやガイドライン等の確認と見直しを行いながら、健康・安全の確保に努めています。



現在は、甲府市、山梨県、そして日本全国で感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と熱中症防止対策が、学校としての取り組みの中心になっています。特に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、アルファ株からデルタ株にほぼ置き換わったと言われており、全国的な顕著な感染拡大は、いわゆる自粛疲れのみならず、デルタ株の感染力の強さが大きな要因と考えざるを得ない状況になっています。

山梨県においては、8月の第1週から感染者の増加が顕著となり、8月6日に知事による「臨時特別協力要請」が出され、8月22日までの学校行事、会議等の延期・中止、またはオンラインでの開催を求められ、部活動についても22日まで県代表としての大会参加等以外は、全て活動中止になりました。その後政府により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいて、8月20日から9月12日を期限として「まん延防止等重点措置」が発出され、その後知事より学校については9月10日まで「分散登校」の要請がありました。

甲府市においては、「まん延防止等重点措置」の措置区域であり、さらに、人口10万人あたりの新規感染者数が、甲府市以外の山梨県での感染者数より甲府市の方が多い状態が続いているので、甲府市立学校においては学級を2つのグループに分け、1日おきに登校する「分散登校」を実施し、三密を回避するとともに措置期間中は授業のみ行い、行事、放課後の活動及び部活動は行わないことで感染防止対策に注力しています。

保護者の皆様におかれましては、急な諸対応が必要となりご迷惑をおかけいたしますが、子供たちの健康・安全を守るための措置ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ◆以下は、27日の2学期始業式において、生徒の皆さんに話した内容です◆

皆さん、おはようございます。今日、2学期の南中学校の生活がスタートします。本来であれば、みんなみ祭をはじめとした、学校・学年行事や学習活動のさらなる充実・発展などについて皆さんに話をするところですが、今、甲府市が山梨県が、そして日本中が、重大な危機に直面しているので、今日はそのことを中心に話をします。

現在、日本は新型コロナ感染の第5波と言われていて、政府は、「緊急事態宣言」の対象地域に、東京、神奈川など21都道府県を指定し、「まん延防止等重点措置」を山梨県をはじめ12県に発出しました。皆さんも知っていると思いますが、感染が全国的に拡大していて、8月20日には、全国で過去最多の25,868人の感染者が報告され、山梨県でも8月20日に過去最多の103人の感染者が確認されました。今現在、コロナウイルスは、変異ウイルスであるデルタ株にほぼ置き換わったと言われています。

デルタ株は、感染力が非常に強いと言われていましたが、実際に感染が広がってみると、その感染力の強さは想像以上で、それが今の感染拡大を引き起こしている要因の一つだと思います。さらに、首都圏等の感染状況が特にひどい地域では、医療機関への入院やホテルなどを利用した宿泊療養施設に入ることが困難になっていて、自宅で療養せざるを得ない人が多数出ています。山梨県は、今、病院などの使用率がとて高くなっていて、このまま感染者が多い状況が続くと、医療機関への入院や宿泊療養施設に入ることが困難になる、という山梨県からの発表がありました。

このような厳しい状況を受け、8月24日の山梨県知事の会見で「分散登校」の要請があり、甲府市では今日から「分散登校」が始まりました。これは、夏休みが終わり、学校が再開することで、学校内で感染が広がらないようにするための措置です。突然のことで、驚いた人も多かったと思いますが、それほど山梨県のコロナの感染状況が、今までになく厳しくなっているということです。

このような状況だからこそ皆さんは、自分と家族、仲間を守るために、これまで家庭や学校で指導されてきた感染防止対策を確実に行ってください。まずは、家庭での確実な健康観察と検温、健康チェック表への記入、そして、学校での提出です。熱があるときはもちろん、せき、頭痛やだるさなどの体調不良があれば、自分と周りの人のことを考えて欠席してください。また、家族の方に具合が悪い人がいる場合も、同様に欠席してください。いずれの場合も、通常の欠席ではなく出席停止になります。また、登校後、具合が悪くなったら、すぐに申し出て、保健室へ行ってください。南中生全員が常に感染対策に気を配り、「感染しない」「感染させない」、という意識で生活を送ってほしいと思います。さらに、「まん延防止等重点措置」の指定区域になっているので、「不要不急の外出や移動の自粛」が求められています。下校後や休みの日の行動にも十分に注意してください。



これまでの、感染事例から明らかになっている、特に感染リスクが高い場面は、「マスクをしないで会話をするとき」、「大きな声を出すとき」、「運動時などの呼吸が激しくなるとき」が特に感染リスクが高いと言われています。

また、新型コロナウイルスの感染の仕方についての研究が進み、現在は「換気」を確実に行うことが強く呼びかけられています。感染した人が咳をしたり声を出すことで、空気中にウイルスを含んだ微粒子（エアロゾル）がたどよい、それを吸い込むことで感染するケースが非常に多いようです。これまで通り各教室で、常に十分な換気を行ってください。今、私達にできることは、確実に感染対策を行っていくことしかありません。感染対策をきちんと行えば、感染する可能性は低くなります。

今後も、皆さんが元気に登校でき、学習や行事などの様々な活動を、思う存分行えることを願っています。コロナに負けることなく、南中生全員で、充実した2学期にしていきたいと思います。

今後も、皆さんが元気に登校でき、学習や行事などの様々な活動を、思う存分行えることを願っています。コロナに負けることなく、南中生全員で、充実した2学期にしていきたいと思います。